

令和 5 年度 部局目標事業シート

部局名	生活安全部
部局長名	秋山 優

優先順位	事業名	区分	所属名
No.1	地域防災計画修正事業	(既存・拡大)	危機管理課
No.2	防災用品備蓄事業	(既存・維持)	危機管理課
No.3	総合防災マップ作成(更新)事業	(新規)	危機管理課
No.4	近鉄下田駅地下自転車駐車場中規模改修事業	(既存・維持)	生活安全課
No.5	コミュニティバス運行事業	(既存・維持)	生活安全課

令和 5 年度部局目標事業シート

No. 1

事業名	地域防災計画修正事業	(既存・拡大)	部局名	生活安全部
			所属名	危機管理課

◆事業の概要

R 5 年度実施内容	前年度から引き続き、地域防災計画の修正について防災会議に諮る。
期待できる効果 (展望)	・防災会議による地域防災計画の修正が行われることで、最新の市の状況や法制度等を反映させた総合的な計画として内容が見直され、市民の安心・安全に繋がることが期待できる。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費内容
一般会計		R 5 年度	
歳出	事業費(自動計算)	9,327,000	
財源内訳	特定財源(自動計算)	0	
	国庫支出金		
	地方債		
	その他		
一般財源		9,327,000	

令和 5 年度部局目標事業シート

No. 2

事業名	防災用品備蓄事業	(既存・維持)	部局名	生活安全部
			所属名	危機管理課

◆事業の概要

R 5 年度実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・災害備蓄品の整備 ・令和5年度は、食料(クッキー)2,200食、保存水4,200本、液体ミルク192本、災害用毛布800枚・トイレトペーパー1,100ロールの整備を行う予定である。 ・見通しの不透明なコロナ自宅療養者支援についても当事業で対応する。
期待できる効果(展望)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災備蓄品の整備・補充がなされることで、中央構造線断層帯地震発生時の想定避難者数22,000人に対する備え(食料22,000食・保存水22,000本など)を充足させ、市民の安心・安全に寄与する。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費内容
一般会計		R 5 年度	
歳出	事業費(自動計算)	5,800,000	<財源内訳> ・その他:ふるさとまちづくり基金 5,800千円 <予算科目> ・需用費:災害時緊急消耗品費 5,800千円 (内訳) 食料(クッキー) 2,208食 … 835千円 保存水 4,272本 … 726千円 液体ミルク 192本 … 47千円 災害用備蓄毛布 800枚 … 2,000千円 トイレトペーパー 1,104個 … 392千円 コロナ自宅療養者支援物資 1,000件 … 1,800千円
財源内訳	特定財源(自動計算)	5,800,000	
	国県支出金		
	地方債		
	その他	5,800,000	
	一般財源		

令和 5 年度部局目標事業シート

No. 3

事業名	総合防災マップ作成(更新)事業 (新規)	部局名	生活安全部
		所属名	危機管理課

◆事業の概要

R 5 年度実施内容	・奈良県による「洪水浸水想定区域」の追加指定や、令和3年に行われた避難情報の見直し等により、「総合防災マップ」を更新し、市民へ周知(全戸配布を想定)を行う。
期待できる効果(展望)	・市民へのハザード地域の周知、防災意識の高揚が期待できる。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費内容
一般会計		R 5 年度	
歳出	事業費(自動計算)	3,360,000	
財源内訳	特定財源(自動計算)	3,360,000	
	国県支出金	1,611,000	
	地方債		
	その他	1,749,000	
一般財源			

令和 5 年度部局目標事業シート

No. 4

事業名	近鉄下田駅地下自転車駐車場中規模改修事業（既存・維持）	部局名	生活安全部
		所属名	生活安全課

◆事業の概要

R 5 年度実施内容	近鉄下田駅地下自転車駐車場中規模改修（施設の再編検討含む）に伴う詳細設計 R5.4 公有財産活用検討委員会 R5.5 入札 R5.6~10 設計
期待できる効果 （展望）	個別施設計画（駐車場）に基づき、計画的かつ適切に修繕、改修を行うことにより安全性や利便性を高め、かつ予想されるコストの平準化を図ることができる。

◆事業実施にかかるコスト

（単位：円）

（会計名）		予算額	経費 内容
一般会計		R 5 年度	
歳出	事業費（自動計算）	18,100,000	
財源内訳	特定財源（自動計算）	16,200,000	
	国県支出金		
	地方債	16,200,000	
	その他		
	一般財源	1,900,000	

令和 5 年度部局目標事業シート

No. 5

事業名	コミュニティバス運行事業 (既存・維持)	部局名	生活安全部
		所属名	生活安全課

◆事業の概要

R 5 年度実施内容	コミュニティバスの実証運行 バス車両の更新 R5.4 入札 R6.3 納車
期待できる効果 (展望)	交通空白地域や交通弱者の移動手段の確保を図る。

◆事業実施にかかるコスト

(単位:円)

(会計名)		予算額	経費 内容
一般会計		R 5 年度	
歳出	事業費(自動計算)	57,112,000	<財源内訳> 使用料:コミュニティバス使用料 7,000,000 基金:ふるさと基金 2,490,000 地方債:地域公共交通整備事業債 6,600,000 雑入:コミュニティバス広告料 150,000 <予算科目> 報償費:コミュニティバス敷地謝礼 110,000 需用費:消耗品費 19,000 燃料費 3,700,000 印刷製本費 187,000 修繕料 3,600,000 役務費:検査手数料 62,000 自賠責保険料 77,000 委託料:運行委託料 33,997,000 ラッピング委託料 1,690,000 使用料及び賃借料:バス借上料 138,000 工事請負費:市有地整備工事 6,000,000 備品購入費:コミュニティバスバス 7,400,000 公課費:自動車重量税 132,000
財源内訳	特定財源(自動計算)	16,240,000	
	国庫支出金		
	地方債	6,600,000	
	その他	9,640,000	
	一般財源	40,872,000	